

調達物品に備えるべき要件	
入札物品名	
・過酸化水素低温プラズマ滅菌装置 一式 (構成内訳) ①過酸化水素低温プラズマ滅菌装置本体 ②生物学的指標オートリーダー ③滅菌履歴管理システム ④滅菌物包装用ヒートシーラー	
入札物品に備えるべき要件	
本体装置について	
①過酸化水素低温プラズマ滅菌装置本体に関して、以下の要件を満たすこと	
1-1	本装置は、滅菌チャンバー内に過酸化水素蒸気を拡散させ、さらに過酸化水素分子を低温プラズマ状態に電磁励起させることにより医用器材等を滅菌する装置であること。
1-2	チャンバー容積は150L以上であること。
1-3	本装置は、過酸化水素濃縮システムにより過酸化水素を滅菌チャンバーに送り込む前に過酸化水素水溶液中の水分を蒸発させ過酸化水素の濃度を高めることができ、被滅菌物の形状・材質に応じてこの濃縮技術を使用できる装置であること。
1-4	本装置には、滅菌サイクル前に約5分間かけて滅菌サイクルキャンセルを低減するロードコンディショニング（水分の検出、水分の除去、システムチェック）のオプション機能があること。
1-5	滅菌サイクルはスタンダード（約47分）、Duo（約60分）、エクスプレス（約24分）、Flex（約42分）の選択式で、被滅菌物に応じて選択できること。
1-6	自動で開閉するドアが一つであること。
1-7	使用する過酸化水素はカセット式であること。
1-8	チャンバー内に気化された過酸化水素の濃度が測定できること。
1-9	滅菌チャンバーの開閉はタッチスクリーンおよびフットスイッチで操作できること。
1-10	選択した滅菌サイクルに適した医療器材の積載方法がタッチスクリーン上に表示されること。
1-11	滅菌中の温度は約57℃以下であること。
1-12	本体の外寸法は、幅800mm X 奥行1100mm X 高さ1850mm 以内であること。
1-13	情報ステーションおよびBI（バイオロジカルインジケーター）を用いれば、滅菌工程およびBI判定結果を自動的に保存できること。
1-14	本体の総重量は、500kg以下であること。
1-15	本体設置に関して給水、給蒸、排水の設備を必要としないこと。
1-16	器材の滅菌適合性を検証確認し、ウェブサイト上で日本語検索できること。
1-17	本装置とオリンパス社製品との適合性一覧をウェブサイト上に掲載していること。
1-18	ポリオン病感染予防ガイドライン完全版（2020年版）において、推奨方法として記載されている滅菌方式であること。
②生物学的指標オートリーダーに関して、以下の要件を満たすこと	
2-1	本装置は、過酸化水素低温プラズマ滅菌装置専用であること。
2-2	バーコードの読取機構を装備し、消耗品の有効期限・ロット番号を記録できること。
2-3	培養結果が20,000件以上保存できること。
2-4	20分以内で培養結果を判定できること。
③滅菌履歴管理システムについては、以下の要件を満たすこと。	
3-1	本装置が対応機器から受信した結果を自動的に記録管理し、必要時に簡単にアクセスできること。
3-2	クラウドへのアクセスが可能であること。
④滅菌物包装用ヒートシーラーに関して、以下の要件を満たすこと	
4-1	包装材の幅に合わせて自動的に印刷文字のフォントサイズが調整可能であること。
4-2	温度調整範囲の上限が220℃を超えないこと。
4-3	シール温度の調整が可能であること。
4-4	シールマージンの調整が可能であること。
4-5	消費電力の最大値が200Wを超えないこと。